



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会社名 株式会社ゴルフ・ドゥ
代表者名 代表取締役社長 伊東 龍也
(コード番号:3032 名証セントレックス)
問合せ先 経営管理本部長 並木 健二
電話番号 048 - 851 - 3111

特別利益の計上、特別損失の計上、業績予想値と実績値との差異及び 剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

平成 30 年 3 月期決算におきまして、特別利益と特別損失の計上がございました。また、平成 29 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期通期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。併せて本日開催の取締役会におきまして、剰余金の配当（無配）につきまして決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益及び特別損失の計上について

(1) 特別利益の計上

当社の100%子会社でありウェルネス事業を担う株式会社ナインルーツの財務状況が悪化したことにより、今後当社グループの経営戦略にも影響が生じかねないことから、当社グループの経営資源の最適配分の観点より、平成30年3月31日付で当社が保有する株式会社ナインルーツの全株式をPCE International, Inc.へ譲渡しております。その株式会社ナインルーツの全株式の譲渡により、同社は平成30年3月31日付で当社の連結対象から除外となりました。その結果、同社の当期までの累積損失106,926千円を子会社株式売却益としまして特別利益計上しております。

(2) 特別損失の計上

上記の「(1) 特別利益の計上」にて記載いたしましたとおり、株式会社ナインルーツは当社の連結対象から除外となりましたため、当社から株式会社ナインルーツへの貸付金につきまして慎重に検討いたしました結果、貸付金 267,336 千円を連結および単体で貸倒引当金繰入額といたしまして特別損失計上しております。なお、今後の見通しといたしましては、貸付金返済の発生に伴い特別利益の計上及び貸倒引当金の戻し入れが発生する見込みです。また、子会社株式売却損といたしまして、8,999 千円を併せて特別損失計上しております。

その他に、当社の連結対象子会社である株式会社Open Upの株式を、平成30年2月23日付で当社100%子会社であるスクエアツウ・ジャパン株式会社が当社の51%保有株式を含む全株式を取得しており、当社以外の49%保有株主からの全株式取得額4,610千円を子会社株式評価損といたしまして特別損失計上しております。

2. 業績差異について

(1) 平成30年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,400	百万円 133	百万円 136	百万円 100	円 銭 39.36
実績値(B)	5,478	51	49	△182	△72.93
増減額(B-A)	78	△81	△86	△282	
増減率(%)	1.4	△61.1	△63.4	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	4,969	106	103	81	31.89

(2) 平成30年3月期通期個別業績実績値と前期実績値との差異 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	百万円 3,812	百万円 50	百万円 50	百万円 29	円 銭 11.45
実績値(B)	3,832	26	56	△256	△102.28
増減額(B-A)	20	△24	5	△285	
増減率(%)	0.5	△47.3	10.4	—	

3. 連結業績予想値と実績値との差異の理由

(1) 営業利益及び経常利益

営業販売事業が好調に推移いたしました。直営事業におきまして売上総利益率の前年からの向上を見込んでおりましたところ、順調に推移いたしました上半期から一転し、下半期が天候不順による影響を主とした業績不振により売上総利益率の向上も叶わず、通期におきましても前年とほぼ同率となってしまいました。また、上半期の新卒採用活動が非常に苦戦を強いられ、今後の直営店出店を考えますと新卒採用は非常に重要であることから、採用活動を下半期に巻き返しました結果、採用活動費が大幅に予定を上回ることとなりました。

新規事業のウェルネス事業におきましては、リラクゼーションサロン事業開始の際、店舗開業時に諸費用が計上されるため、黒字に転換するまで一定期間を要すると想定しておりましたが、主に人材不足を理由とします業績不振が想定を大幅に超え、計画を大きく下回る状況が続き、他の事業業績で補うこともできませんでした。

以上のことから、営業利益及び経常利益が前回発表予想を下回る結果となりました。

(2) 親会社株主に帰属する当期純利益

上記の「(1) 営業利益及び経常利益」にて記載いたしました差異の理由と併せ、「1. 特別利益及び特別損失の計上について」にて記載いたしましたとおり、当社の100%子会社でありウェルネス事業を担う株式会社ナインルーツの当社が保有する全株式を平成30年3月31日付でPCE International, Inc.へ譲渡しております。その株式譲渡により、特別利益といたしまして106,926千円が計上されましたが、当社から株式会社ナインルーツへの貸付金につきまして、慎重に検討いたしました結果、貸倒引当金繰入額にて267,336千円を計上し、本株式譲渡による特別損失合計としまして276,335千円を計上しております。

以上のことから、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を大幅に下回る結果となりました。

4. 個別業績実績値と前期実績値との差異の理由

(1) 営業利益

「3. 連結業績予想値と実績値との差異の理由（1）営業利益及び経常利益」にて記載いたしましたとおり、直営事業におきまして、下半期の天候不順による影響を主とした業績不振により、通期におきましても売上総利益率が予定を下回り、店舗売上高前年対比も下半期の全店ベースが95.2%と前年実績を下回りました。また、新卒採用活動で上半期の苦戦を挽回すべく下半期に人材、資金を重点的に投入いたしましたことにより、採用活動費が大幅に予定を上回ることとなりました。

以上のことから、営業利益が前期実績値を下回る結果となりました。

(2) 当期純利益

「3. 連結業績予想値と実績値との差異の理由（2）親会社株主に帰属する当期純利益」にて記載いたしましたとおり、当社の100%子会社でありウェルネス事業を担う株式会社ナインルーツの当社が保有する全株式を平成30年3月31日付でPCE International, Inc.へ譲渡しております。その株式譲渡により、当社から株式会社ナインルーツへの貸付金につきまして、慎重に検討いたしました結果、連結業績実績値と同様に貸倒引当金繰入額にて267,336千円を計上し、本株式譲渡による特別損失合計としまして276,335千円を計上しております。

以上のことから、当期純利益が前期実績値を大幅に下回る結果となりました。

5. 剰余金の配当（無配）について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月15日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基準日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たりの配当金	0円00銭	10円00銭	0円00銭
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

(2) 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題と位置付け、事業展開と経営基盤の強化に必要な内部留保の充実に努めつつ、業績に応じた配当の実施を基本方針としております。

しかしながら、「2. 業績差異について（1）平成30年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異」にて記載いたしましたとおり、平成30年3月期の親会社株主に帰属する当期純損失が182,868千円となり、この結果を勘案いたしましたところ、当期の期末配当は誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に配当できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上